



## イベント概要

- 開催：2015年10月8日（木）18：30～21：30
- 会場：渋谷ヒカリエ ヒカリエホール ホールB
- 主催：渋谷区
- 共催：東京急行電鉄株式会社/東京地下鉄株式会社/京王電鉄株式会社/東日本旅客鉄道株式会社

第一部：基調講演「渋谷開発のこれから」（40分）  
 〈登壇者〉内藤 廣（建築家・東京大学名誉教授）

第二部：「Making Maybe. “かも”づくりフューチャーセッション」（120分）  
 長谷部区長×ゲスト×参加者で“渋谷らしい暮らし方、遊び方、働き方を考える”セッション  
 〈登壇者〉長谷部 健（渋谷区長）  
 大西 賢治（渋谷区商店会連合会会長 渋谷道玄坂商店街振興組合理事長）  
 林 千晶（株式会社ロフトワーク代表取締役）  
 坊垣 佳奈（株式会社サイバーエージェントクラウドファンディング取締役）  
 〈モデレーター〉野村 恭彦（株式会社フューチャーセッションズ代表取締役）

こんな渋谷、いい“かも”、くる“かも”、できる“かも”、未来の渋谷の可能性をひろげるため、渋谷らしい暮らし方、遊び方、働き方を考えるシンポジウムを渋谷ヒカリエで開催し、約200名の渋谷に関心を寄せる方々が参加されました。

第一部では、建築家の内藤廣氏が「渋谷開発のこれから」と題して、これまで渋谷が文化発信の中心地であったと、イラストや映像を用いて講演をされました。その中で、渋谷の「良さ」や「らしさ」を解説し、渋谷らしいまちづくりへ想いを馳せられました。



第二部では、事前に参加者から寄せられた「渋谷で叶えたい〇〇“かも”」を音楽や祭り、アート、スクランブル交差点、渋谷川などのジャンルごとに紹介し、そのアイデアのもと、長谷部区長と、まちを想う多様なゲストが、それぞれの未来の渋谷への想いを語りました。



来場者からは、「自分は渋谷区民ではないが、渋谷に対する郷土愛を育めるようなものがほしい。渋谷でいろいろ実現するための力を集める仕組みがあると嬉しい。」と渋谷に対する思いを語られていました。

今回のシンポジウムを経て、区民、商店街、企業、行政が協力して、多様な人々による様々なアイデアの実現を目指していく仕組みづくりの輪をひろげていきます。